

新源泉の掘削へ 工事の安全祈願

南陽・赤湯温泉

南陽市赤湯温泉の新源泉掘削工事安全祈願祭が4日、旧赤湯小グラウンドで行われた。

同温泉は現在、温泉街にある森の山1号と2号源泉の2本がある。毎分計約840リットの湯量を誇り、赤湯財産区（管理者・塩田秀雄市長）が管理し、旅館や福祉施設など温泉を供給して

いる。将来的な源泉の安定供給を目指し、新源泉を掘削。年内に新源泉を揚湯（ようつとう）し、2015年の利用開始を目指す。

祈願祭には、財産区や旅館組合、施工業者などが出席した。神事で玉串をささげた塩田市長は「赤湯温泉は南陽市の貴重な資源であり、財産。源泉の安定供給を図り、今後の地域発展につなげたい」などとあいさつ。全員で順調な工事と期間中の安全を祈った。